

自立と共生！

たくましい日本！

No. 188号

民主党 中川正春の

永田町かわら版

2003年4月8日

〒100-8981 千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館 428号

TEL 03-3508-7128 FAX 03-3508-3428

<http://www.MASAHARU.GR.JP>

E-mail g03063@shugiin.go.jp

○知事選挙と県議会選挙は、4月

13日

桜が満開です。知事選挙と県議会選挙が、13日の投票日を控えて、白熱してきました。

知事選の候補と桜祭りの会場を「桃太郎」(のぼりを立ててマイクで呼びながら練り歩くこと)をしました。「私も同郷の出や。」などと言いながら、しっかりと手を握って励ましてくれる人。「何の選挙やろ」という顔で通りかかる人たちも、一旦握手で絡めると、笑いながら「頑張ってください。」と言ってくれます。中には、「じゃまくさい。」という顔でにらまれる事もあります。人さまざま。候補者の必死で語りかける様子を、横で見ながら、心が熱くなります。

県民が皆、できるだけ生の候補者とふれあい、政策を評価し、それぞれの人間性を感じ取りながら、どこまでその政策が実現できるか、どこまで本気か、そのことを、判断して欲しいと思っています。選挙のやり方も、もっともっと工夫をしたいものです。桜の花のように、前向きですがすがしい選挙をしたいものです。棄権せずに必ず投票してください。

○緊急事態法制、イラク戦争に乗じて、提出か

自民党が、有事法制を提出する態勢になってきています。去年の議論で沢山の不備が指摘されたことから、出しなおしです。当初は、5月の半ばくらいからの議論だと言われていたのが、急きょ浮上してきました。イラク戦争と北朝鮮との緊張を背景に、早いとこまとめてしまおうという思惑が透けて見えます。

私達は、去年の議論で、民主党内の基本的な姿勢は固まっていると思っています。まさかの時に、法律のないまま総理大臣や自衛隊が無秩序な権力

②緊急事態対応での、国民の権利制限の範囲や、義務規定について、最小限のものに限定するとともに、具体的な議論の先延ばしはだめだ。③冷戦時代の国どうしの全面戦争だけが想定されているのではなく、現実的なテロ、不審船、大規模災害などに対応できる緊急事態法制であるべき。④アメリカ軍や地方自治体との関係の明確化も大切。等々、沢山の課題を残しています。

今回の政府案が、どこまで去年の問題を整理してきているか、見定めた上、私達民主党の対案を提出する準備をしています。

さて、議論の末は、どうなる事か。自民党が私達の提案をどこまで採用して法案の修正に応じるのか、このところが政局とかかわって、未だ見えてきません。どっちにしても、民主党が充分議論をした上で、最後は、一致団結して、この法案に結論を出していくことが、大切です。政調会に緊張がみなぎっています。

○小学校の入学式に出席しました

地元の小学校の入学式に招待されました。嬉しくて、何にも優先させて、出かけました。うちの子供は全部で4人。一番下が今年大学に進学してしまって、子育ても一段落。久しくかわいい子供達にかかわりを持つことがなかっただけに、新鮮な感動を覚えました。

地元の小学校は、今年から30人学級を実現して、25人のクラスが4つ。各教室がつながっているオープン教室で、新しい学習指導も取り入れられ、父母の活発な協力体制もあるようです。入学式に、お父さん達の参加が多かったのも、嬉しく感じました。

「しかし、中川さん、いいことばかりではないん

を行使する事は、国を危うくする。どこまで総理大臣にまかせて、どのようなときに自衛隊をどのような限度の中で活用していくのか、法律でその枠組みを予め決めておくことは、大事だから、緊急事態法制を作る事には賛成をしています。

その時のポイントとして、①シビリアンコントロールの基本、国会の承認を、事前、事後で確定すること。

ですよ。家庭環境の難しい子供。学校現場に適応できない先生。現実には、年々深刻且つ複雑になっています。教育基本法の改正論議が国会で始まっているようですが、観念論で議論せずに、ぜひ現場を理解してください。」周りの皆さんにこんな風に言われて、改めて、教育現場を検証する気持ちになっています。